

令和 7 年度公共下水道事業

終末処理場等維持管理業務委託（債務負担行為）

仕 様 書

中野市建設水道部上下水道課

公共下水道事業 終末処理場等維持管理業務委託  
仕様書

目 次

第 1 章	総則（第 1 条－第 16 条）	1
第 2 章	業務内容（第 17 条－第 27 条）	5
第 3 章	業務書類等（第 28 条－第 32 条）	7
第 4 章	業務実施要領（第 33 条－第 41 条）	8
第 5 章	その他（第 42 条－第 49 条）	10
別表第 1	遵守すべき主な法令	12
別表第 2	業務対象施設及び設備等	13
別表第 3	業務履行範囲	19
別表第 4	流入水の想定水質及び想定水量	33
別表第 5	目標とする管理基準	36
別表第 6	緊急事態及び非常事態	37
別表第 7	廃棄物の処理	38
別表第 8	責任分担	39
別表第 9	費用分担	40
別表第 10	業務履行計画書及び業務履行体制	41
別表第 11	業務書類	43
別表第 12	業務完了報告書	44
別表第 13	有資格者の選任	45
別表第 14	施設等の使用許可	46
別表第 15	水質及び汚泥試験	47
別表第 16	支給する部品材料等	53
別表第 17	受注者が負担する消耗品等	54
別表第 18	敷地境界線臭気測定	54
別表第 19	直接経費の負担区分	55
別表第 20	貸与品類について	57

## 第1章 総 則

### （目的）

第1条 この仕様書は、中野市が所管する中野浄化管理センター、長嶺浄化管理センター、高丘浄化管理センター、上今井浄化管理センター及び中野、高丘、上今井、竹原、牧ノ入、日野並びに延徳処理区内に設置してあるマンホールポンプ場、し尿等投入施設及び非常用汚水貯留施設（以下「終末処理場等」という。）の維持管理業務について、性能発注の考え方に基づき委託するに当たり、その業務が適正に履行され、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に寄与するため、必要な事項を定めることを目的とする。

### （業務の履行）

第2条 受注者は、自ら有する技術力等を活用して、終末処理場等の施設機能を保全しかつ十分発揮させ、計画的に効率的かつ効果的に維持管理するため、設計書、仕様書及び契約書に基づき、適切に業務を履行し、責任を負担しなければならない。

### （委託の期間）

第3条 委託業務の期間は、令和8年4月1日から令和13年3月31日までとする。

### （業務の場所）

第4条 委託業務の場所は、次のとおりとする。

- |  |                    |
|--|--------------------|
| (1) 中野浄化管理センター                             | 中野市大字江部 511 番地     |
| (2) 長嶺浄化管理センター                             | 中野市大字七瀬 1335 番地 1  |
| (令和 10 年度末に公共中野処理区へ統合予定)                   |                    |
| (3) 高丘浄化管理センター                             | 中野市大字栗林 280 番地 20  |
| (4) 上今井浄化管理センター                            | 中野市大字上今井 162 番地 1  |
| (5) 中野、高丘、上今井、竹原、牧ノ入、日野及び延徳処理区域内のマンホールポンプ場 |                    |
| (6) し尿等投入施設                                | 中野市大字江部 511 番地     |
| (7) 非常用汚水貯留施設                              |                    |
| ① 旧草間処理場                                   | 中野市大字草間 553 番地 2   |
| ② 旧日野処理場                                   | 中野市大字新野 570 番地 1   |
| ③ 旧延徳処理場                                   | 中野市大字三ツ和 1291 番地 1 |

### （施設の維持管理）

第5条 受注者は、維持管理する終末処理場等が、中野市が行う公共下水道事業のための施設であることを理解し、その目的を達成するため業務の履行をしなければならない。

2 受注者は、終末処理場等の施設を目的外に使用してはならない。

3 受注者は、終末処理場等への業務履行に直接関係のない者の立ち入り、物品資材等の持ち込み及び車両の乗り入れをしてはならない。また、終末処理場等の設備、物品等を持ち出ししてはならない。

### （業務の内容）

第6条 委託業務の主な内容は次のとおりとし、その詳細については第2章から第5章によるものとする。

- (1) 中野浄化管理センター及びし尿等投入施設については常勤とし、長嶺及び上今井浄化管理センターについては週1回、高丘浄化管理センターについては週2回、汚水貯留施設については月1回の巡回を行い、連続して終末処理場等の維持管理をすること。
- (2) 想定汚水流入等に対し、所定の水質その他基準を満たす維持管理をすること。
- (3) 事故・災害等の臨機に措置できる体制を整え、発生時には適切に対応すること。
- (4) 終末処理場等施設設備の保守点検計画を策定し、実施すること。
- (5) 終末処理場等施設設備の運転操作計画及び体制を策定し、実施すること。
- (6) 終末処理場等の水処理、汚泥処理に係る水質及び汚泥試験をすること。
- (7) 終末処理場等に関する法令等に基づく環境測定をすること。
- (8) 業務の計画及び履行を記録し、整理報告すること。
- (9) 終末処理場等の沈砂、し渣等の運搬作業をすること。
- (10) 終末処理場等の巡視、施錠、清掃及び火災予防をすること。
- (11) 終末処理場等の除草及び植栽樹木の管理をすること。
- (12) 終末処理場等の備付機材、備品、材料等の整理整頓をすること。
- (13) 業務履行に係る廃棄物の搬出における確認作業をすること。
- (14) 終末処理場等からの異常通報に適切に対処すること。
- (15) 非常事態時に利用する汚水貯留施設（旧農業集落排水処理場）の保守点検をすること。
- (16) し尿等投入施設において、搬入台数・量等の適正確認をすること。
- (17) その他この業務を完了させるために必要で監督員が指示することを行うこと。

### （業務の再委託）

第7条 受注者は、本件業務の全部又はその主たる部分を、第三者に委託し請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

- 2 受注者は、業務の一部を第三者に委任、又は請け負わせた場合（以下「再委託」という。）再委託事業者名を書面により発注者に提出しなければならない。再委託事業者の変更があった場合も同様とする。

### （監督員）

第8条 本業務における監督員の権限は、契約書に定めたとおりとする。

- 2 監督員が権限を行使するときは、書面により行うものとする。ただし、緊急を要する場合には監督員は口頭で指示等を行うことができる。その場合受注者は、指示等に従うものとし、後日書面により監督員と受注者が指示内容等を確認するものとする。

### （管理技術者）

第 9 条 受注者は、本業務に関して契約書に定めた権限を有し、終末処理場等を定期的に巡回して業務の管理及び統轄する専任の管理技術者を定めなければならない。

2 管理技術者は、終末処理場等の施設機能を熟知するとともに、常に本業務履行の状況を把握し、事故災害等の緊急時に臨機の処置ができる体制を整え、適切に対応しなければならない。

3 管理技術者は、やむをえず巡回ができないときは、その職務を代行する代行者を定め、氏名その他必要な事項を監督員に通知しなければならない。代行者を変更した場合も同様とする。

4 代行者は、管理技術者に指示された職務を誠実に遂行しなければならない。ただし、代行者は契約書に規定した管理技術者が有する権限を有するものではない。

### （従業員）

第 10 条 受注者は、本業務の履行に従事する従業員の担当業務を明記した名簿を作成し、監督員に提出しなければならない。従業員又は担当業務を変更した場合も同様とする。

2 受注者は、従業員に対し、処理場等の維持管理に関し必要な知識及び技術の教育並びに実地訓練を計画的に行わなければならない。

### （安全管理）

第 11 条 受注者は、業務履行における従業員の安全を確保するため、労働安全衛生法等の関係法令を遵守し、安全措置を講じなければならない。

2 受注者は、従業員に対し、終末処理場等の維持管理に関し必要な知識及び技術の教育並びに実地訓練を計画的に行わなければならない。

### （貸与等の管理）

第 12 条 発注者は、業務履行に必要な処理場等の完成図書類、設備台帳及び専用特殊工具、部品類等を受注者に貸与又は支給する。

2 受注者は、業務履行に必要な貸与品及び支給品等を発注者から受領したときは、受領書を提出するとともに、台帳及び物品受払簿等を作成し整理しておかななければならない。また、監督員の求めがあった時は、これを提示しなければならない。

3 受注者は、貸与品及び支給品等を故意又は過失により滅失又は破損したときは、その損害を補償しなければならない。

### （諸法令の遵守）

第 13 条 受注者は、業務履行に当たり日本国の法令及び中野市が定める条例等を遵守しなければならない。

2 遵守すべき主な法令は別表第 1 のとおりとする。

#### **（官公庁等への手続等）**

第 14 条 受注者は、業務履行に係る必要な諸官公庁及びその他関係機関への届出等の手続を行うものとする。

2 受注者は、前項に規定する届出等に当たっては、その内容を記載した文書により事前に監督員に報告しなければならない。

3 受注者は、業務履行に当たり終末処理場等周辺住民との間に紛争が生じないよう努めなければならない。

4 終末処理場等の維持管理に関する、市民、他都市、諸官公庁又は報道機関等からの照会、意見、要望、依頼等の対応は、発注者が行うものとするが、受注者はこれに協力するものとする。

5 終末処理場等への視察等の対応は発注者が行うものとし、受注者は対応に協力するものとする。

#### **（損害の賠償等）**

第 15 条 受注者は、業務履行に伴い生じた一般的損害及び第三者に及ぼした損害については、速やかに監督員に報告し、契約書第 24 条及び第 25 条に定めるところによりその費用を負担しなければならない。

#### **（保険）**

第 16 条 発注者は、終末処理場等について下水道事故損害賠償責任保険及び全国市有物件損害共済基金に加入するものとする。

2 受注者は、雇用保険法、労働災害保養保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

3 受注者は、業務履行に関して賠償責任保険、機械保険その他保険を付したときは、当該保険に係る証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示しなければならない。

## 第2章 業務内容

### （業務対象施設）

第17条 本委託業務の対象施設及び主要設備等は、別表第2のとおりとする。

### （業務範囲）

第18条 本委託業務の履行範囲は別表第3のとおりとする。

### （流入水等の想定値）

第19条 終末処理場等に流入する汚水の想定水量等（以下「想定値」という。）は、別表第4のとおりとする。

### （維持管理指針）

第20条 受注者は、仕様書第13条第2項の法令及び（公社）日本下水道協会が発行する「下水道維持管理指針-2014年版-」並びに自らの技術力と創意工夫により維持管理業務を履行するものとする。

### （目標とする管理基準）

第21条 目標とする管理基準（以下「基準値」という。）は、別表第5のとおりとする。

2 受注者は、月毎に、全ての管理基準項目の計量証明値及び測定値を発注者に報告しなければならない。

### （緊急事態への対応）

第22条 受注者は、本業務が社会的機能維持に関わる業務である事に留意し、緊急事態及び非常事態が発生した時には、必要最低限の施設機能を保持できるよう対策を講じておかなければならない。

2 受注者は、別表第6中欄の緊急事態に対し、自らの手順を定めておかなければならない。

3 受注者は、震度5弱以上の地震が発生した場合又は発注者からの要請があった場合は直ちに緊急体制に入るものとする。

4 発注者は、緊急事態が別表第6右欄の状況まで進展した場合には非常事態宣言をし、一時的に施設の運転操作を指示することができる。

5 受注者は、緊急事態において自らの手順に従い、かつ、臨機の措置として自らの判断に基づき損害を最小化するための最善の努力を行い、その限りにおいて緊急事態により処理場等の施設に何らかの損害が発生した場合にはその責は問われないものとする。

6 受注者は、新型インフルエンザ等の感染症に対し感染予防を心がけ、必要な対策を講じるものとし、感染拡大時には社会的機能が麻痺する恐れが有る事から業務履行に当たり最低限必要な業務の精査、業務に必要な薬品類の備蓄及び従業員の不足時における対応方法について体制等を定めおかなければならない。なお、従業員等が感染した事を確認した場合は発注者へ報告を行うものとする。

7 緊急事態により発生した損害で、次の事項は発注者の負担とする。

- (1) 特定事業場からの悪質排水等、想定水質を逸脱した流入水が原因で、活性汚泥の死滅等が発生し、下水を処理することが不可能となった場合で、受注者の対応に過失がない場合の活性汚泥回復のための費用等。
- (2) 地震が原因で、処理場等が損傷し、下水を処理することが不可能となった場合で、受注者の対応に過失がない場合の処理場等修復のための費用等。
- (3) 発注者の指示により運転操作がなされた状況において、処理場等が損傷又は機能低下し、下水を処理することが不可能となった場合で、受注者の対応に過失がない場合の処理場等修復のための費用等。
- (4) 緊急体制の場合の費用については発注者の負担とする。
- (5) 前項の費用については、受注者と別途契約を締結し、支払うものとする。

#### (建設工事等への対応)

第 23 条 終末処理場等施設設備の増設、改築等建設工事及び修繕工事（以下「建設工事等」という。）は、発注者が行う。

2 発注者は、建設工事等についてその施行期間中における受注者の履行业務に係る責任分担を明確にし、受注者に通知しなければならない。

3 受注者は、建設工事等が円滑に進捗するよう協力しなければならない。

#### (廃棄物の処理)

第 24 条 終末処理場等の維持管理に伴い発生する廃棄物の取扱いは、関係法令に基づき別表第 7 のとおりとする。なお、受注者自ら処分する場合は、処分場所及び許可証の写しを発注者へ提出することとし、その責は自ら負うものとする。

#### (防火管理)

第 25 条 終末処理場等における防火管理については、火災予防計画を定め、発注者に届け出なければならない。

2 受注者は、第 1 項火災予防計画に基づき火元責任者及び自主点検検査員を定め、発注者に報しなければならない。

3 受注者は、第 1 項火災予防計画で定める防火管理業務の一部を受託することについて同意するものとする。

#### (責任分担)

第 26 条 本業務における発注者及び受注者の責任分担は、別表第 8 のとおりとする。

#### (費用分担)

第 27 条 本業務における発注者及び受注者の費用分担は、別表第 9 のとおりとする。



### 第3章 業務書類等

#### (検査)

第28条 受注者は、毎月及び年間の業務が完了したときは、仕様書第32条に基づく業務完了報告書を提出し、発注者の検査を受けなければならない。

2 発注者は、業務の完了を確認するため、仕様書第29条に基づき管理技術者の立会いのうえ業務完了検査を行うものとする。

#### (検査の方法)

第29条 発注者は、検査職員を定め、受注者立会いのうえ当該期間の業務完了検査を行う。検査の方法は、仕様書に基づき、主に次の事項について確認する。

- (1) 業務完了報告書
- (2) 水質等試験結果
- (3) 運転操作結果
- (4) 保守点検結果
- (5) その他履行業務結果

#### (業務計画書及び業務履行体制等の作成)

第30条 受注者は、業務開始日までに、この仕様書及び別表第10に基づいて業務計画書及び本業務を履行するための業務履行体制等を作成し、監督員に提出しなければならない。また、業務計画及び業務履行体制等を変更した場合も同様とする。

2 受注者は、監督員が指示した事項については、さらに詳細な業務計画及び業務履行体制等を作成し、提出しなければならない。

#### (業務書類等の提出)

第31条 受注者は、仕様書第30条で提出した業務計画書及び業務履行体制に基づき、業務書類等を作成し整理保管するとともに、別表第11にて提出期限の定められたものは期間内に監督員へ提出しなければならない。

2 業務書類等の保管期間は5年間とし、設備台帳は永年保存とする。

#### (業務報告書)

第32条 受注者は、月毎若しくは年度毎の業務を行う前及び完了したときは、速やかに別表第12に定める内容の業務報告書を監督員へ提出するものとする。

## 第4章 業務実施要領

### （有資格者の選任）

第33条 受注者は、別表第13に定める有資格者を配置しなければならない。

- 2 受注者は、従事する業務に応じ法令等で定められた資格者を選任し、又は、当該業務に関し定められた特別教育修了者を従事させなければならない。
- 3 受注者は、業務履行に必要な有資格者等を選任したときは、速やかに有資格者選任報告書を提出しなければならない。選任者を変更したときも同様とする。
- 4 受注者は、法令等に基づき法定資格者として諸官公庁へ提出する場合は、事前に監督員へ報告しなければならない。

### （運転操作要領）

第34条 受注者は、終末処理場等の施設設備の運転操作及び保守点検に当たっては、その機能が十分発揮できるよう機器取扱説明書その他完成書類等に基づき、自らの計画を基に維持管理をしなければならない。

- 2 受注者は、運転操作業務を適正に行い、終末処理場等において事故及び故障等を発生させないように万全を期さなければならない。
- 3 受注者は、終末処理場等の運転操作及び保守点検に当たっては、別表第14に定める施設を、使用許可条件を遵守することを条件に、使用することができる。

### （廃棄物の運搬）

第35条 受注者は、処理場等から発生する廃棄物について、仕様書第24条に基づき監督員の指定する場所へ運搬しなければならない。

- 2 受注者は、廃棄物の運搬に対し、年度当初毎に運搬車両の申請を行うものとする。運搬車両を変更した場合も同様とする。なお、作業時は必ず申請車両にて収集・運搬を行わなければならない。
- 3 受注者は、自らの廃棄物を運搬及び処分する場合は、自らの責において行うものとする。

### （水質及び汚泥試験）

第36条 受注者は、水処理及び汚泥処理の運転状況を把握し操作するため、別表第15に定める水質及び汚泥試験を行い、その経過及び結果を整理保存しておかななければならない。

- 2 受注者は、前項に定める以外に、自らの判断に基づき運転管理における状況把握が必要となったときは、自ら水質試験を行うものとする。
- 3 受注者は、水処理及び汚泥処理の運転、並びに水質試験及び汚泥試験の結果を定期的に監督員へ報告しなければならない。
- 4 受注者は、水質試験を行うに当たり中野浄化管理センター管理棟水質試験室を使用することができる。

**（補修及び簡易な修繕）**

第 37 条 受注者は、終末処理場等の施設設備への注油、防錆塗装、部品清掃、消耗品交換及び機器調整等の定期的な保全と共に、別表第 16 に示す発注者が支給する部品材料等の交換などの補修及び簡易な修繕を行い、施設設備の機能を保持しなければならない。

**（消耗品等）**

第 38 条 受注者が負担する消耗品等は、別表第 17 のとおりとする。

**（臭気測定）**

第 39 条 受注者は、水処理等の運転状況を把握し操作するため、別表第 18 に定める臭気測定を行い、その経過及び結果を整理保存しておかなければならない。

2 受注者は、前項に定める以外に、自らの判断に基づき運転管理における状況把握が必要となったときは、自ら臭気測定を行うものとする。

3 受注者は、臭気測定を行った場合は、その結果を監督員へ報告しなければならない。

**（直接経費の負担）**

第 40 条 業務に伴う直接経費の負担区分は、別表第 19 のとおりとする。

**（マンホールポンプ場の維持管理）**

第 41 条 受注者は、別表第 2 に示すマンホールポンプ場について維持管理するものとする。

2 受注者は、契約締結後速やかに異常通報先の設定確認及び変更等を行い、マンホールポンプ場から異常通報が入ったときはその内容を速やかに確認し、正常な機能を発揮するよう対応しなければならない。

3 受注者は各マンホールポンプ場において異常時に対応する担当者を定め、発注者へ報告しなければならない。なお、担当者を変更したときも同様とする。

## 第5章 その他

### （施設機能の確認）

第42条 発注者は、契約開始時、契約終了時及び契約期間中の必要と判断した時に、処理場等の施設設備の機能確認を行うものとする。

2 受注者は、発注者が行う前項の機能確認に際しては、その業務に協力するものとする。

3 受注者は、施設機能の確認結果に疑義がある場合は、発注者に施設機能の再確認を請求することができる。

4 発注者は、前項の請求が妥当と認められる場合は、受注者の立会いのもとで施設機能の再確認を行うものとする。

5 発注者は、施設機能の確認を第三者に委託することができる。この場合は、発注者は、施設機能の確認を第三者に委託したことについて受注者に通知し、受注者はこれに同意しその業務に協力するものとする。

### （守秘義務）

第43条 受注者は、契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

2 受注者は、提出書類を第三者に譲渡、貸与又は質権その他担保の目的に供してはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合はこの限りではない。

### （情報公開）

第44条 発注者は、本委託業務に係る提出書類等を含む全ての事項について評価し、その結果を条例等に基づき公開することができる。

### （就業の制限）

第45条 受注者は、労働安全衛生法等で定める就業制限に係る機器の運転、操作及び危険物の取扱い等は、有資格者以外の者に行わせてはならない。

### （施設の改善）

第46条 受注者は、終末処理場等の施設設備の改善を行うことにより、業務の効率化を図ろうとする場合は、施設の改善をすることができる。

2 受注者は、施設の改善をするときは、その内容等についてあらかじめ発注者の承諾を得なければならない。改善の内容等を変更する場合も同様とする。

3 施設の改善に要する費用は、発注者と受注者双方で協議する。

4 発注者は、受注者が行った施設の改善について、処理場等の維持管理に障害が生ずるおそれがあると認めるときは、受注者に復元を請求することができる。この場合の施設の復元に要する費用は、発注者と受注者双方で協議する。

5 改善施設の契約終了時における取扱いは、発注者と受注者双方で協議する。

**（業務の提案）**

第 47 条 受注者は、終末処理場等の業務履行に関して、仕様書で定める以外の効率的で効果的な技術的事項がある場合は、発注者に業務の提案をすることができる。

2 受注者は、業務の提案をするときは、その内容等についてあらかじめ発注者の承諾を得なければならない。採用した提案の内容等を変更する場合も同様とする。

3 発注者は、受注者が行う業務の提案について、終末処理場等の維持管理に障害が生ずるおそれがあると認めるときは、受注者にその採用の取消を請求することができる。

**（中野市環境マネジメントシステム「なかのエコマネジメントシステム」への協力）**

第 48 条 受注者は、発注者が独自に取り組んでいる環境方針の趣旨に沿うよう、業務を行うものとする。

**（疑義）**

第 49 条 本仕様書に定めがない事項及び疑義が生じた事項については、発注者受注者双方が協議し定める。

別表第1 遵守すべき主な法令 (仕様書第13条関係)

名称	
地方自治法	昭和 22 年 法律第 67 号
下水道法	昭和 33 年 法律第 79 号
道路交通法	昭和 35 年 法律第 105 号
消防法	昭和 23 年 法律第 186 号
水道法	昭和 32 年 法律第 177 号
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	平成 10 年 法律第 114 号
毒物及び劇物取締法	昭和 25 年 法律第 303 号
環境基本法	平成 5 年 法律第 91 号
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	平成 11 年 法律第 86 号
ダイオキシン類対策特別措置法	平成 11 年 法律第 105 号
大気汚染防止法	昭和 43 年 法律第 97 号
水質汚濁防止法	昭和 45 年 法律第 138 号
騒音規制法	昭和 43 年 法律第 98 号
振動規制法	昭和 51 年 法律第 64 号
悪臭防止法	昭和 46 年 法律第 91 号
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	昭和 45 年 法律第 137 号
労働基準法	昭和 22 年 法律第 49 号
労働安全衛生法	昭和 47 年 法律第 57 号
作業環境測定法	昭和 50 年 法律第 28 号
職業能力開発促進法	昭和 44 年 法律第 64 号
労働者災害補償保険法	昭和 22 年 法律第 50 号
補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律	昭和 30 年 法律第 179 号
計量法	平成 4 年 法律第 51 号
肥料取締法	昭和 25 年 法律第 127 号
エネルギーの使用の合理化に関する法律	昭和 54 年 法律第 49 号
電気事業法	昭和 39 年 法律第 170 号
電気工事士法	昭和 35 年 法律第 139 号
都市計画法	昭和 43 年 法律第 100 号

別表第2 業務対象施設及び設備等 (仕様書第17条関係)

2-1 対象処理施設

【中野浄化管理センター】

受変電設備	受電電圧 3φ 3W 6.6kV		
自家発電設備	発電電圧 3φ 3W 6.6kV	発電容量 500kVA	
中央監視設備	中央監視室、中央操作卓	データロガー等	1式
沈砂設備	流入ゲート 1.5kW	2基	粗目スクリーン 1基
	揚砂ポンプ 5.5kW	2台	自動除塵機 0.4kW 1台
	し渣脱水機 0.75kW	1台	沈砂・し渣ホイス ト 1式
	床排水ポンプ 3.7kW	2台	床排水ポンプ 2.2kW 1台
ポンプ室設備	汚水ポンプ 22kW	2台	汚水ポンプ 37kW 2台
	池清掃ポンプ 5.5kW	1台	床排水ポンプ 1.5kW 4台
送風機室設備	ルーツブロア 55kW	3台	
水処理設備	沈砂スカムスキマ 0.4kW	4台	初沈汚泥掻寄機 4台
	エアタン曝気装置	1式	終沈汚泥掻寄機 4台
	生汚泥ポンプ 2.2kW	4台	余剰汚泥ポンプ 3.7kW 4台
	返送汚泥ポンプ 2.2kW	5台	返送汚泥ポンプ 3.7kW 1台
	管廊排水ポンプ 1.5kW	4台	他関連設備 1式
処理水再利用設備	原水ポンプ 3.7kW	2台	処理水ポンプ 11kW 2台
	逆洗ポンプ 15kW	2台	表洗ポンプ 5.5kW 2台
	自動ストレーナー 0.4kW	2台	砂ろ過槽 1基
	床排水ポンプ 1.5kW	1台	他関連施設 1式
汚泥処理設備	汚泥掻寄機	1台	濃縮汚泥ポンプ 5.5kW 2台
	汚泥貯留槽攪拌機 7.5kW	1台	ベルトプレス脱水機 2台
	汚泥供給ポンプ	2台	薬品溶解タンク 4 m <sup>3</sup> 2基
	薬品供給ポンプ	2台	ケーキ搬出コンベア 2台
	脱臭ファン	2台	造粒汚泥ポンプ 2台
	助剤供給ポンプ	3台	造粒攪拌機 2台
	調質攪拌機	2台	他関連施設 1式
雑用水設備	雑用水高架水槽	1基	他関連施設 1式
建築付帯設備	機械設備	1式	電気設備 1式

【長嶺浄化管理センター】

受変電設備	受電電圧 3φ 200V			
沈砂設備	沈砂分離機	1 台	破砕機 0.2kW	1 台
	微細目スクリーン 0.4kW	1 台	し渣脱水機 0.1kW	1 台
回分槽設備	汚泥引抜ポンプ 0.75kW	2 台	曝気ブローア 11kW	2 台
	曝気装置 2.2kW	4 台	上澄水排水装置	2 台
汚泥処理設備	遠心濃縮機 3.8kW	1 台	余剰汚泥攪拌機 1.1kW	1 台
	汚泥供給ポンプ 0.75kW	2 台	濃縮汚泥攪拌機 1.1kW	1 台
消毒設備	消毒剤注入器	1 台		
用水設備	給水ユニット 3.7kW	1 台		
建築付帯設備	電気設備	1 式		

【高丘浄化管理センター】

受変電設備	受電電圧 3φ 3W 6.6kV			
自家発電設備	発電電圧 220V		発電容量 75kVA	
沈砂設備	流入ゲート 0.4kW	1 基	破砕機 3.7kW	1 基
	微細目スクリーン 0.4kW	1 台	スカム分離機 0.4kW	1 台
	し渣脱水機 0.75kW	1 台	主ポンプ 7.5kW	2 台
OD設備	曝気装置 11kW	2 台	返送汚泥ポンプ 2.2kW	2 台
	余剰汚泥ポンプ 7.5kW	2 台	終沈汚泥掻寄機 0.4kW	1 台
	スカムポンプ 1.5kW	2 台		
汚泥処理設備	ろ過器	1 台	ろ過ポンプ 1.5kW	2 台
	ろ過用ストレーナー0.1kW	1 台	給水ユニット 1.5kW	1 台
	消泡水ストレーナー0.1kW	1 台	濃縮汚泥掻寄機 0.4kW	1 台
	濃縮汚泥ポンプ 7.5kW	1 台	汚泥貯留槽攪拌機 2.4kW	1 台
	汚泥供給ポンプ 7.5kW	2 台	汚泥脱水機 2.45kW	1 台
	溶解タンク攪拌機 0.75kW	2 台	凝集剤定量供給機 0.2kW	2 台
	凝集剤供給ポンプ 0.4kW	2 台	ろ布洗淨ポンプ 3.7kW	2 台
	ケーキ移送ポンプ 3.7kW	1 台	ケーキフィーダー3.7kW	1 台
	ケーキ貯留ホッパ 1.5kW	1 台	空気圧縮機 3.7kW	2 台
	脱臭ファン 2.2kW	1 台	上水給水ポンプ 0.75kW	2 台
	除湿機 0.2kW	1 台	活性炭吸着塔 3 層式	1 台
消毒設備	放流ポンプ 5.5kW	2 台	消雪ポンプ 0.75kW	2 台
建築付帯設備	機械設備	1 式	電気設備	1 式



【上今井浄化管理センター】

受変電設備	受電電圧 3φ 200V			
電気設備	動力制御盤、自動通報装置	1 式	記録計放流流量計等	1 式
除塵設備	破碎機 0.4kW	1 台	自動スクリーン 0.1kW	1 台
	し渣脱水機 0.4kW	1 台		
水処理設備	エアレーション装置 4.5kW	4 台	返送汚泥ポンプ 1.5kW	2 台
	終沈スカムスキマ	1 台	終沈掻寄機 0.4kW	1 台
処理水再利用設備	給水ユニット 2.2kW	1 台	原水ポンプ 2.2kW	2 台
	処理水ストレーナー 0.1kW	1 台	高分子凝集剤移送ポンプ	1 台
汚泥処理設備	余剰汚泥ポンプ 1.5kW	2 台	汚泥脱水機	1 式
	高分子凝集剤貯留タンク	1 台	脱臭ファン 0.75kW	1 台
	ポリ鉄貯留タンク	1 台	ポリ鉄注入ポンプ	1 台
	脱臭ファン 0.75kW	1 台	活性炭吸着塔	1 台
	ケーキホッパ	1 台		
放流水処理設備	塩素混和地排泥ポンプ	1 台		
建築付帯設備	機械設備	1 式	電気設備	1 式

【し尿等投入施設】

受変電設備	受電電圧 3φ 3W 6.6kV			
し尿等処理設備	破碎ポンプ 7.5kW	2 台	スクリーンユニット 2.2kW	1 基
	希釈水槽攪拌機 1.5kW	2 台	床排水ポンプ 2.2kW	1 台
	原水移送ポンプ 2.2kW	1 台	希釈水槽引抜弁 0.4kW	2 台
	し尿投入ポンプ 7.5kW	2 台	処理水給水ユニット 7.5kW	1 台
	脱臭ファン 3.7kW	1 台	活性炭吸着塔	1 基
	破碎機 5.5kW	1 台		
建築付帯設備	機械設備	1 式	電気設備	1 式

【非常用汚水貯留施設（旧農業集落排水処理場）】

草間	原水ポンプ 1.5kW	2 台
日野	原水ポンプ 5.5kW	2 台
延徳	原水ポンプ 5.5kW	2 台

## 2-2 対象マンホールポンプ場

### 【中野処理区域内 マンホールポンプ場 設備概要】

東江部中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
西江部第1中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
西江部第2中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
片塩第1中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
片塩第2中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
片塩第3中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
七瀬中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
新保中継ポンプ場	中継ポンプ 3.70kW 2台	他関連設備 1式
東山中継ポンプ場	中継ポンプ 2.20kW 2台	他関連設備 1式
新井中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
小田中中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
一本木第1中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
一本木第2中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
東吉田中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式

### 【竹原処理区域内 マンホールポンプ場 設備概要】

竹原中継ポンプ場	中継ポンプ 3.70kW 2台	他関連設備 1式
----------	-----------------	----------

【高丘処理区域内 マンホールポンプ場 設備概要】

安源寺第1中継ポンプ場	中継ポンプ 5.50kW 2台	他関連設備 1式
安源寺第2中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
安源寺第3中継ポンプ場	中継ポンプ 5.50kW 2台	他関連設備 1式
日和第1中継ポンプ場	中継ポンプ 2.20kW 2台	他関連設備 1式
日和第2中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
日和第3中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
栗林中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
牛出中継ポンプ場	中継ポンプ 2.20kW 2台	他関連設備 1式
立ヶ花第1中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
立ヶ花第2中継ポンプ場	中継ポンプ 2.20kW 2台	他関連設備 1式
立ヶ花第3中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
草間中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
草間処理場内中継ポンプ場	中継ポンプ 11.0kW 2台	他関連設備 1式

【上今井処理区域内 マンホールポンプ場 設備概要】

中村中継ポンプ場	中継ポンプ 2.20kW 2台	他関連設備 1式
南部中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
上ノ山中継ポンプ場	中継ポンプ 3.70kW 2台	他関連設備 1式
上ノ山中央中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
大久保中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
国道117号中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
処理場前中継ポンプ場	中継ポンプ 2.20kW 2台	他関連設備 1式
処理場東中継ポンプ場	中継ポンプ 5.50kW 2台	他関連設備 1式
園芸組合中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
美女坂中継ポンプ場	中継ポンプ 3.70kW 2台	他関連設備 1式
西部中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
牡丹沢中継ポンプ場	中継ポンプ 3.70kW 2台	他関連設備 1式
〇〇宅第1ポンプ場	個人ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
〇〇宅第2ポンプ場	個人ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
〇〇宅ポンプ場	個人ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式

【牧ノ入処理区域内 マンホールポンプ場 設備概要】

牧ノ入中継ポンプ場	中継ポンプ 3.70kW 2台	他関連設備 1式
-----------	-----------------	----------

【日野処理区域内 マンホールポンプ場 設備概要】

津島中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
みなみ保育園下中継ポンプ場	中継ポンプ 3.70kW 2台	他関連設備 1式
三原公会堂上中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
三原公会堂下中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
十二橋中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
丸山橋中継ポンプ場	中継ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式
高遠村中中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
高遠橋中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
日野処理場内中継ポンプ場	中継ポンプ 3.70kW 2台	他関連設備 1式
〇〇〇〇宅中継ポンプ場	個人ポンプ 0.75kW 2台	他関連設備 1式

【延徳処理区域内マンホールポンプ場 設備概要】

小沼西中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
小沼東中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
桜沢南中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
延徳郵便局中継ポンプ場	中継ポンプ 2.20kW 2台	他関連設備 1式
桜沢駅南中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
延徳小学校南中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
延徳農協東中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
篠井川中継ポンプ場	中継ポンプ 1.50kW 2台	他関連設備 1式
延徳処理場内中継ポンプ場	中継ポンプ 5.50kW 2台	他関連設備 1式

【保守点検要領】

- ① 目視点検 年3回
- ② ポンプを引き上げてマンホール内清掃及びポンプ機器点検 年1回
- ③ 清掃、機器点検及び各ポンプの運転状況の記録を保存。
- ④ 年間12か所ないし13か所（24台ないし26台）のポンプオイル交換を年次点検時に実施。5年間で63か所（126台）を実施。
- ⑤ 別表3-7に示す要領により、個人ポンプ場を除く中継ポンプ場の外観状況及び硫化水素濃度測定、躯体内部、蓋の腐食状況の目視点検を実施し記録を保存。5年間で59か所を実施。

緊急時主要設備等

非常用発電機	150kVA 1台	250kVA 1台
--------	-----------	-----------

※非常時の対応を迅速に行えるよう、保守点検及びオイル交換等を実施。

別表第3 業務履行範囲(仕様書第18条関係)

業務種別	対象施設	業務範囲	主な業務内容	記事
運転管理	各処理場	水処理	・法定基準及び目標とする管理基準を満たすための全ての運転管理	
		汚泥処理	・汚泥維持のための運転管理	
施設設備保守点検	共通	日常点検	・業務履行計画書に基づく点検 ・毎日及び巡視時の目視、触感、確認、調整作業等	
		定期点検	・業務履行計画書に基づく点検 ・定期の確認、測定、補給、交換、調整作業等	
		臨時点検	・異常時の確認、測定、補給、交換調整作業等	
		定期自主点検	・業務履行計画書に基づく法定点検作業	
		補修及び簡易な修繕、部品交換等	・仕様書に基づく補修及び簡易な修繕作業	
		清掃・塗装	・仕様書に基づく施設設備の清掃及び塗装作業	
運転操作監視	共通	運転操作監視制御	・業務履行計画書に基づく運転操作及び監視制御	
		巡視点検記録	・各種点検作業内容及び数値等必要事項の記録	
		機器設備運転操作	・必要時における機器設備の運転停止操作	
		管理日報 操作記録の作成	・仕様書に基づく各種帳票及び報告書類等の作成	
		緊急時の対応	・仕様書及び業務計画書に基づく対応	
直接経費 調達管理	共通	受注者負担分 調達管理	・脱臭用活性炭	
水質及び 汚泥試験	各処理場	水処理	・目標とする管理基準を満たすための試験	
	共通	汚泥処理	・目標とする管理基準を満たす汚泥処理管理のための試験	
環境測定	中野	敷地境界臭気測定	・仕様書に定める年1回の環境測定	
点検	共通	計装設備	・定期点検、調整、清掃	
		直流電源 CVCF 設備等	・定期点検、調整、清掃（年1回）	
		脱臭装置臭気測定	・脱臭装置出口臭気指数装置入出口ガス成分分析	
	マンホール ポンプ	定期点検	・定期点検、調整、清掃 ・ガス検知器による環境測定 ・マンホールポンプ場の外観状況、躯体内部、蓋の腐食状況等の目視点検を実施し記録を保存	別表3-7

業務種別	対象施設	業務範囲	主な業務内容	記事
	ポンプ 吐出口と その下流	マンホールポンプ 等周辺設備	・ ガス検知器による環境測定（吐出口のみ） ・ 腐食する恐れが大きい箇所（吐出口とその下流）の外観状況、躯体内部、蓋の腐食状況等の目視点検を実施し記録を保存。	別表第 3 - 7
廃棄物 運搬	共通	廃棄物の場内及び 場外運搬	・ し渣、沈砂の収集・運搬作業 し渣（東山クリーンセンターへ） 沈砂（中野浄化管理センター内）	
火災 予防	共通	消防設備法定点検	・ 消火設備、自動火災報知設備誘導設備等の法定点検（機能点検、総合点検）	別表第 3 - 1
		消防計画に基づく 業務	・ 火災予防管理、自主点検、自衛消防等	
		危険物の安全管理 業務	・ 危険物取扱（重油・軽油）の安全管理	別表第 3 - 2
	中野	地下タンク漏洩 検査	・ 重油タンクの漏洩検査	別表第 3 - 3
建物 管理 清掃 除草 及び 植栽 管理	共通	施設等建物、門扉 及び柵等	・ 定期巡視、施錠	
		各棟・中継ポンプ 清掃	・ 床、室内、雨水管等定期清掃	別表第 3 - 4
		除草作業	・ 敷地内の定期除草 ・ 東江部区等からの要請に伴う除草作業	別表第 3 - 5
		植木剪定及び消毒	・ 植木の剪定及び消毒作業	別表第 3 - 5
		場内道路、側溝清 掃	・ 敷地内道路清掃及び道路側溝の清掃	
		管理棟及び 事務室管理	・ 管理棟及び事務室等の使用に伴う管理	
	中野・ 高丘・ 上今井	塩素混和地	・ 堆積した沈殿物の除去（年 1 回）	
	し尿等 投入施設	受入槽	・ 堆積した夾雑物及び沈砂の除去、洗浄作業（年 3 回）	
	中野・高丘	修景池	・ 草刈り	
	非常用 汚水貯留 施設	流量調整槽、汚泥 貯留槽	・ 一時的に受入れた汚水の移送及びし渣等の除去、清掃作業（異常流入時等）	
業務 管理	共通	業務履行計画 実施管理	・ 仕様書及び業務計画書に基づく管理	
		提出書類作成・整 理	・ 仕様書及び業務計画書に基づく書類作成 及び管理	
		安全衛生管理	・ 仕様書及び業務計画書に基づく管理	
		行政財産管理	・ 仕様書及び業務計画書に基づく管理	
		貸与品及び 支給品管理	・ 仕様書及び業務計画書に基づく管理	

業務種別	対象施設	業務範囲	主な業務内容	記事
		消耗品等検収確認	・発注者が購入する指定消耗品等の検収確認	
		搬出廃棄物数量確認	・仕様書及び業務計画書に基づく確認作業	
		施設見学等への協力	・仕様書及び業務計画書に基づく協力	
業務管理	共通	建設工事への協力	・仕様書及び業務計画書に基づく協力	
		引継事項の整理保管	・仕様書及び業務計画書に基づく整理保管	

### 3-1 火災予防-消防設備法定点検

#### ①自動火災報知設備

機器名	単位	数量								
		中野		長嶺	高丘	上今井	草間	日野	延徳	合計
		処理施設	し尿施設							
受信機 P型1級	面	2 (11/20) (20/30)	-	1 (5/5)	1 (9/15)	-	-	-	-	4
感知器差動式 スポット型	個	42	3	-	22	-	-	-	-	67
感知器定温式 スポット型	個	28	-	4	33	-	-	-	-	65
煙感知器 光電式	個	85	-	19	34	-	-	-	-	138
発信機P-1	個	19	1	3	5	-	-	-	-	28
音響装置電鈴	個	20	-	4	6	-	-	-	-	30
配線点検	式	1	1	1	1	-	-	-	-	

②屋内消火栓設備

機器名	単位	数量								
		中野		長嶺	高丘	上今井	草間	日野	延徳	合計
		処理施設	し尿施設							
加圧送水装置	組	1	-	-	-	-	-	-	-	1
操作盤	式	1	-	-	-	-	-	-	-	1
手動起動スイッチ	個	15	-	-	-	-	-	-	-	15
呼び水装置	台	1	-	-	-	-	-	-	-	1
消火栓屋内型	基	15	-	-	-	-	-	-	-	15
配線点検	式	1	-	-	-	-	-	-	-	

③誘導灯設備

機器名	単位	数量								
		中野		長嶺	高丘	上今井	草間	日野	延徳	合計
		処理施設	し尿施設							
誘導灯 C 級	灯	64	3	6	7	7	-	5	3	95
誘導灯 B 級	灯	8	-	-	7	-	1	-	-	16
誘導標識	個	-	-	-	1	-	3	2	-	6
配線点検	式	1	1	1	1	1	1	1	1	

④非常放送設備

機器名	単位	数量								
		中野		長嶺	高丘	上今井	草間	日野	延徳	合計
		処理施設	し尿施設							
アンプ	台	1	-	-	-	-	-	-	-	1
スピーカー	個	48	-	-	-	-	-	-	-	48
配線点検	式	1	-	-	-	-	-	-	-	

⑤消火器設備

機器名	単位	数量								
		中野		長嶺	高丘	上今井	草間	日野	延徳	合計
		処理施設	し尿施設							
消火器(粉末 畜圧 10 型)	個	43	2	11	14	3	2	3	5	83



### 3-2 火災予防—危険物の安全管理業務（中野浄化管理センター）

施設		危険物	安全管理業務
一般取扱所		第4類	危険物保安監督者の選任
		第4石油類	
危険物取扱所 地下タンク	自家発電機	A重油 10kL	地下タンク点検（月1回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レベル計確認</li> <li>・ 漏油確認</li> <li>・ タンク周り点検</li> <li>・ 上部スラブ、通気管、計量口、漏洩検知管、注入口、注入口ピット、看板、消火器等</li> </ul>
			地下タンク点検（年1回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検尺棒実測</li> </ul>

※危険物の取扱いについては、危険物取扱い資格者が行うこと。

点検時に異常を発見した場合は、緊急に安全対策を講じると共に発注者に報告すること。

### 3-3 火災予防—地下貯蔵タンク漏洩及び地下埋設配管気密検査

（中野浄化管理センター）

場所	建屋	油種	容量	検査要領
中野浄化管理センター	管理棟	A重油	10kL	1 消防法第14条3の2の規定により、配管類を含めた検査を行うものとする。 2 修理、部品交換等が必要となった場合は、速やかに監督員へ報告する物とする

### 3-4 建物管理等一清掃・整理整頓

#### ① 日常清掃場所

施設名	建 屋	場 所
中野浄化管理センター	管理棟	ポーチ、風除室、内玄関、階段、廊下、会議室、事務室、湯沸室、試験室、分析室、便所、中央監視室、ホール、資料室、仮眠室、宿直室
	機械棟	倉庫、工具類置場、廊下、階段
長嶺浄化管理センター	施設全般	出入口、床、階段、便所
高丘浄化管理センター	施設全般	玄関、床、階段、湯沸室、便所、会議室
上今井浄化管理センター	施設全般	玄関、床、階段、湯沸室、便所、会議室
し尿等投入施設	施設全般	床、階段、投入口機器
非常用汚水貯留施設	施設全般	出入口、床、階段

- ※ 上今井の処理場内の会議室については、主に市民が利用するため会議等後の清掃については利用者が行うが、通常のコストについては施設管理として清掃を行うこと。
- ※ 長嶺、高丘、上今井の処理場及び非常用汚水貯留施設については、適宜、巡回日に清掃を行うこと。
- ※ 備品・消耗品及び予備品類は、各施設の倉庫や工具類置場に整理整頓し、保管すること。

#### ② 定期清掃場所 （中野浄化管理センター）

建 屋	場所	数量	業種及び頻度
管理棟	廊下、玄関ホール、階段、ホール、湯沸室、会議室、更衣室、事務室、仮眠室、研究室、試験室、天秤室、分析室、中央監視室、器具庫、	991.76 m <sup>2</sup>	床ワックス及び清掃・整理 樹脂系ワックス 毎年8月及び3月の年2回実施 (但し、電気系統室を除く)
機械棟	廊下、階段室、控室、洗面所、電気室、風呂場入口		
管理棟	外回り、窓、出入口	223.0 m <sup>2</sup>	ガラスクリーニング 毎年8月及び3月の年2回実施
機械棟	外回り、窓、出入口	129.0 m <sup>2</sup>	

- ※ 床ワックス清掃は、真空掃除機又はモップで清掃後中性洗剤で洗浄し、樹脂系ワックス掛けを行う。
- ※ 床清掃は、ポリッシャーによる洗剤での清掃を行う。

3-5 建物管理等一除草作業・植木剪定

作業場所	主な作業内容	実施面積
中野浄化管理センター	敷地内の除草、植木の剪定及び消毒作業	16,000 m <sup>2</sup>
長嶺浄化管理センター	敷地内の除草、植木の剪定及び消毒作業	330 m <sup>2</sup>
高丘浄化管理センター	敷地内の除草、植木の剪定及び消毒作業	4,600 m <sup>2</sup>
上今井浄化管理センター	敷地内の除草、植木の剪定及び消毒作業	1,200 m <sup>2</sup>
非常用汚水貯留施設 (旧草間処理場)	敷地内の除草	330 m <sup>2</sup>
非常用汚水貯留施設 (旧日野処理場)	敷地内の除草、植木の剪定及び消毒作業	1,050 m <sup>2</sup>
非常用汚水貯留施設 (旧延徳処理場)	敷地内の除草、植木の剪定及び消毒作業	1,100 m <sup>2</sup>
中野市大字片塩 58 番地 5 片塩下水道用地	敷地内の除草	180 m <sup>2</sup>

※片付け、樹木の伐採等その他の作業については、現地の状況を踏まえながら委託者と協議のうえ実施する。

### 3-6 電気設備点検

下記の点検要領により、年1回点検を行うこと。

#### 【計装設備保守点検要領】

##### 1. 共通要領

##### 1) 機器単体の点検・整備（個別機器の点検・整備）

- ・外観検査
- ・点検後確認

##### 2) 総合点検（システム全体の総合調整）

- ・計装ループとしての確認
- ・配線配管等の接続箇所の点検
- ・供給電源の確認
- ・各系統の電源スイッチ、ヒューズの確認
- ・保安装置関係の点検
- ・発熱・振動・異音・悪臭・漏洩の点検

##### 3) 部品交換

- ・点検に必要な消耗雑品及び小物部品の調達、劣化部品等の交換は本業務に含む

#### 【個別機器点検・整備要領】

##### 1) 外観検査

- ・ケースの腐食及び損傷の点検
- ・埃及びその他の汚れの点検及び清掃
- ・取付台の腐食及び取付ボルトの緩みの点検
- ・導圧管接続口の腐食、損傷、漏れの点検
- ・エアー配管の腐食、漏れの点検
- ・カバーOリングの損傷の点検
- ・カバーパッキン、ドアパッキン等の損傷の点検
- ・外部接続端子の腐食、緩みの点検
- ・テフロン膜の変形、損傷等の点検及び清掃
- ・測定部の腐食、損傷の点検及び清掃

##### 2) 点検後の確認

- ・測定状態への復帰及び運転確認

### 3-7 マンホール内部目視点検

腐食する恐れが大きい吐出口マンホール及びその下流マンホールについて下記の点検要領により目視点検を行うこと。

#### 1. 点検（写真撮影）項目（1か所あたり）

- ① マンホール外観状況（蓋のすり減り、舗装の破損）
- ② ポンプ稼働時の硫化水素濃度測定
- ③ マンホール内部状況（全景）
- ④ マンホール内部状況（異常、腐食部拡大）
- ⑤ マンホール蓋裏面状況

※指定した点検結果表に点検結果の判定状況を記録し、指定点検結果表及び点検状況写真を委託者へ提出すると共に受託者においても整理、保管する。

#### 2. その他

- ① 点検に当たり道路使用届等の手続きを行う
- ② マンホールの洗浄は行わない
- ③ 必ずガス濃度測定及び交通整理員、注意看板にて安全管理を行う

#### 3. 点検箇所

- ① 法定点検箇所（マンホールポンプ場の吐出口マンホール）  
5年以内毎に1度点検をすること。点検箇所は別表の55か所をする。
- ② 定期点検箇所（吐出口先の下流マンホール）  
おおよそ5年から10年毎に1度点検をすること。ポンプ稼働時の硫化水素濃度測定は実施しない。点検箇所は別表の85か所とする。

3-7-1 【法定点検箇所】中野、竹原処理区域内（公共）吐出口 16 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	36-2-1	0009	東江部 MHP 吐出口	東江部 17 号線
2	26-4-12	0040	西江部第 1MHP 吐出口	西江部 5 号線
3	26-4-17	0053	西江部第 2MHP 吐出口	西江部 4 号線
4	26-4-16	0007	片塩第 1MHP 吐出口	西江部 15 号線
5	26-3-15	0064	片塩第 2MHP 吐出口	片塩 33 号線
6	26-3-15	0034	片塩第 3MHP 吐出口	安源寺 3 号線
7	26-2-18	0002	七瀬 MHP 吐出口	七瀬 1 号線
8	36-2-8	0012	新保、延徳処理場内 MHP 吐出口	延徳 7 号線
9	27-3-25	0014	東山 MHP 吐出口	小田中東山団地線
10	27-1-7	0034	新井 MHP 吐出口	県道中野飯山線
11	37-1-3	0006	小田中 MHP 吐出口	中野 25 号線
12	27-2-1	0017	一本木第 1MHP 吐出口	県道須坂中野線
13	27-2-2	0023	一本木第 2MHP 吐出口	竹原 27 号線
14	27-1-11	0018	東吉田 MHP 吐出口	中野 27 号線
15	17-3-23	0009	竹原 MHP 吐出口	竹原一本木線
16	37-1-2	0015	日野処理場内 MHP 吐出口	下小田中 19 号線

3-7-2 【定期点検箇所】中野、竹原処理区域内（公共）吐出口先 30 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	17-3-23	0008	竹原 MHP 吐出口先①	竹原一本木線
2	17-3-23	0015	竹原 MHP 吐出口先②	〃
3	17-3-23	0014	竹原 MHP 吐出口先③	認定外道路
4	17-3-23	0012	竹原 MHP 吐出口先④	〃
5	17-3-23	0010	竹原 MHP 吐出口先⑤	若宮 6 号線
6	17-3-22	0031	竹原 MHP 吐出口先⑥	〃
7	17-3-22	0030	竹原 MHP 吐出口先⑦	〃
8	17-3-22	0028	竹原 MHP 吐出口先⑧	〃
9	17-3-22	0027	竹原 MHP 吐出口先⑨	〃
10	17-3-22	0026	竹原 MHP 吐出口先⑩	〃
11	17-3-22	0024	竹原 MHP 吐出口先⑪	若宮 5 号線
12	17-3-22	0014	竹原 MHP 吐出口先⑫	〃
13	17-3-22	0012	竹原 MHP 吐出口先⑬	〃
14	17-3-22	0010	竹原 MHP 吐出口先⑭	〃
15	17-3-22	0009	竹原 MHP 吐出口先⑮	〃
16	17-3-22	0008	竹原 MHP 吐出口先⑯	〃
17	17-3-22	0007	竹原 MHP 吐出口先⑰	〃

18	26-4-16	0008	片塩第 1 MHP 吐出口先①	西江部 15 号線
19	26-4-16	0001	片塩第 1 MHP 吐出口先②	〃
20	26-4-11	0001	片塩第 1 MHP 吐出口先③	〃
21	37-1-3	0005	小田中 MHP 吐出口先①	中野 25 号線
22	37-1-3	0004	小田中 MHP 吐出口先②	〃
23	36-2-8	0013	新保、延徳処理場内 MHP 吐出口先①	延徳 7 号線
24	36-2-8	0014	新保、延徳処理場内 MHP 吐出口先②	〃
25	36-2-8	0007	新保、延徳処理場内 MHP 吐出口先③	〃
26	36-2-8	0015	新保、延徳処理場内 MHP 吐出口先④	新保安源寺線
27	36-2-8	0016	新保、延徳処理場内 MHP 吐出口先⑤	〃
28	36-2-8	0017	新保、延徳処理場内 MHP 吐出口先⑥	〃
29	27-2-1	0016	一本木第 1 MHP 吐出口先①	県道須坂中野線
30	37-1-2	0016	日野処理場内 MHP 吐出口先①	下小田中 19 号線

3-7-3 【法定点検箇所】高丘処理区域内（特環）吐出口 12 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	26-3-14	0005	安源寺第 1MHP 吐出口	県道三水中野線
2	26-3-19	0029	安源寺第 2MHP 吐出口	高丘 1 号線
3	26-3-19	0009	安源寺第 3MHP 吐出口	県道中野豊野線
4	36-1-1	0024	日和第 1MHP 吐出口	高丘 10 号線
5	36-1-2	0020	日和第 2MHP 吐出口	草間 37 号線
6	36-1-6	0023	日和第 3MHP 吐出口	—
7	26-3-3	0039	栗林 MHP 吐出口	安源寺 29 号線
8	25-4-15	0016	牛出 MHP 吐出口	片塩牛出線
9	25-4-24	0014	立ヶ花第 2MHP 吐出口	〃
10	35-2-14	0001	立ヶ花第 1MHP 吐出口	立ヶ花排水機場線
11	36-1-12	0035	草間 MHP 吐出口	安源寺草間大橋線
12	36-1-11	0001	草間処理場内 MHP 吐出口	草間 5 号線

※立ヶ花第 3MHP 吐出口は立ヶ花第 1MHP 場と重複するため、ポンプ場内点検と同一とする

## 3-7-4 【定期点検箇所】高丘処理区域内（特環）吐出口先 49 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	25-4-15	0018	牛出 MHP 吐出口先①	片塩牛出線
2	25-4-15	0020	牛出 MHP 吐出口先②	〃
3	26-3-6	0001	牛出 MHP 吐出口先③	〃
4	26-3-6	0002	牛出 MHP 吐出口先④	〃
5	26-3-6	0005	牛出 MHP 吐出口先⑤	栗林 1 号線
6	26-3-6	0006	牛出 MHP 吐出口先⑥	〃
7	26-3-6	0016	牛出 MHP 吐出口先⑦	〃
8	26-3-6	0017	牛出 MHP 吐出口先⑧	〃
9	26-3-6	0018	牛出 MHP 吐出口先⑨	〃
10	26-3-6	0019	牛出 MHP 吐出口先⑩	〃
11	26-3-6	0020	牛出 MHP 吐出口先⑪	〃
12	26-3-6	0027	牛出 MHP 吐出口先⑫	〃
13	26-3-6	0034	牛出 MHP 吐出口先⑬	〃
14	26-3-6	0035	牛出 MHP 吐出口先⑭	〃
15	26-3-6	0036	牛出 MHP 吐出口先⑮	栗林 3 号線
16	26-3-6	0037	牛出 MHP 吐出口先⑯	〃
17	26-3-6	0038	牛出 MHP 吐出口先⑰	〃
18	26-3-14	0002	安源寺第 1 MHP 吐出口先①	県道三水中野線
19	26-3-19	0010	安源寺第 3 MHP 吐出口先①	〃
20	26-3-19	0011	安源寺第 3 MHP 吐出口先②	〃
21	26-3-14	0040	安源寺第 3 MHP 吐出口先③	〃
22	26-3-19	0030	安源寺第 2 MHP 吐出口先①	高丘 1 号線
23	26-3-19	0032	安源寺第 2 MHP 吐出口先②	〃
24	25-4-24	0015	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先①	片塩牛出線
25	25-4-24	0016	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先②	〃
26	25-4-24	0018	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先③	〃
27	25-4-19	0021	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先④	〃
28	25-4-19	0020	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑤	〃
29	25-4-19	0019	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑥	〃
30	25-4-19	0011	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑦	〃
31	25-4-19	0009	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑧	〃
32	25-4-20	0002	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑨	〃
33	25-4-19	0008	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑩	〃
34	25-4-15	0006	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑪	〃
35	25-4-15	0005	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑫	牛出 11 号線
36	25-4-15	0003	立ヶ花第 2 MHP 吐出口先⑬	〃
37	36-1-2	0019	日和第 2 MHP 吐出口先①	草間 37 号線



38	36-1-2	0017	日和第 2 MHP 吐出口②	草間 82 号線
39	35-2-9	0010	立ヶ花第 1 MHP 吐出口先①	立ヶ花排水機場線
40	35-2-9	0012	立ヶ花第 1 MHP 吐出口先②	〃
41	35-2-9	0018	立ヶ花第 1 MHP 吐出口先③	立ヶ花 14 号線
42	35-2-9	0019	立ヶ花第 1 MHP 吐出口先④	〃
43	35-2-9	0024	立ヶ花第 1 MHP 吐出口先⑤	〃
44	35-2-9	0027	立ヶ花第 1 MHP 吐出口先⑥	〃
45	36-1-11	0002	草間処理場内 MHP 吐出口先①	草間 53 号線
46	36-1-11	0003	草間処理場内 MHP 吐出口先②	〃
47	36-1-11	0005	草間処理場内 MHP 吐出口先③	〃
48	36-1-11	0006	草間処理場内 MHP 吐出口先④	〃
49	36-1-6	0048	草間処理場内 MHP 吐出口先⑤	〃

3-7-5 【法定点検箇所】上今井処理区域内（特環）吐出口 10 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	32-2	0004	美女坂 MHP 吐出口	上今井替佐停車場線
2	34-0	0015	国道 117 号 MHP 吐出口	国道 117 号
3	34-0	0022	上ノ山 MHP 吐出口	上ノ山 2 号線
4	34-8	0034	牡丹沢 MHP 吐出口	上今井替佐停車場線
5	33-1	0053	南部 MHP 吐出口	〃
6	33-1	0037	中村 MHP 吐出口	〃
7	33-1	0005	上ノ山中央 MHP 吐出口	西側線
8	33-1	0020	大久保 MHP 吐出口	国道 117 号
9	32-1	0016	西部 MHP 吐出口	西部上今井停車場線
10	33-2	0006	園芸組合 MHP 吐出口	旭宮横線

※処理場東、処理場前 MHP は上今井浄化管理センターへ直接流入するため除く

3-7-6 【定期点検箇所】上今井処理区域内（特環）吐出口先 2 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	34-0	0023	上ノ山 MHP 吐出口先①	上ノ山 1 号線
2	33-1	0054	南部 MHP 吐出口先①	上今井替佐停車場線

3-7-7 【法定点検箇所】牧ノ入処理区域内（特環）吐出口 1 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	97-4-17	0001	牧ノ入 MHP 吐出口	牧ノ入 4 号線

3-7-8 【定期点検箇所】牧ノ入処理区域内（特環）吐出口先 1 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	97-4-12	0008	牧ノ入 MHP 吐出口先①	—

3-7-9 【法定点検箇所】日野処理区域内（特環）吐出口 8 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	37-1-12	0038	みなみ保育園下 MHP 吐出口	谷街道線
2	37-1-8	0007	高遠橋 MHP 吐出口	東田線
3	37-1-9	0025	高遠村中 MHP 吐出口	〃
4	37-3-4	0033	丸山橋 MHP 吐出口	県道須坂中野線
5	37-3-4	0023	十二橋 MHP 吐出口	〃
6	37-3-8	0003	津島 MHP 吐出口	篠井間山線
7	37-3-15	0047	三原公会堂上 MHP 吐出口	間山 15 号線
8	37-3-10	0040	三原公会堂下 MHP 吐出口	丸山三原線

3-7-10 【定期点検箇所】日野処理区域内（特環）吐出口先 3 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	37-1-12	0039	みなみ保育園下 MHP 吐出口先①	谷街道線
2	37-1-12	0040	みなみ保育園下 MHP 吐出口先②	〃
3	37-1-12	0041	みなみ保育園下 MHP 吐出口先③	〃

3-7-11 【法定点検箇所】延徳処理区域内（特環）吐出口 8 か所

	図面番号	MHNo.	名称	路線名称
1	36-2-20	0029	篠井川 MHP 吐出口	篠井 11 号線
2	36-4-4	0019	延徳郵便局 MHP 吐出口	大熊 33 号線
3	36-4-9	0034	延徳小学校南 MHP 吐出口	大熊 1 号線
4	36-4-13	0003	桜沢駅南 MHP 吐出口	県道中野小布施線
5	36-4-17	0018	桜沢南 MHP 吐出口	〃
6	36-2-19	0018	延徳農協東 MHP 吐出口	篠井殿橋線
7	36-2-23	0004	小沼西 MHP 吐出口	〃
8	36-2-23	0025	小沼東 MHP 吐出口	大熊 22 号線

別表第4 流入水の想定水質及び想定水量（仕様書第19条関係）

4-1 中野浄化管理センター 流入水の想定水質

水質項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	想定流入水質
pH		6.5～8.4	6.7～8.3	7.0～8.3	6.5～8.5
BOD	mg/L	280～410	240～440	240～410	450 未満
SS	mg/L	230～360	220～360	200～350	400 未満
全窒素	mg/L	46～86	53～98	50～96	100 未満
全りん	mg/L	7.2～8.8	6.4～8.8	7.2～8.6	10 未満

4-2 長嶺浄化管理センター 流入水の想定水質

水質項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	想定流入水質
pH		6.9～7.8	7.0～7.8	7.0～7.6	6.5～8.5
BOD	mg/L	160～620	130～550	140～530	650 未満
SS	mg/L	42～750	43～650	42～530	750 未満
全窒素	mg/L	35～60	35～62	31～66	80 未満
全りん	mg/L	4.3～7.8	4.3～8.2	3.8～6.7	10 未満

4-3 高丘浄化管理センター 流入水の想定水質

水質項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	想定流入水質
pH		7.2～7.9	7.3～8.1	7.2～8.1	6.5～8.5
BOD	mg/L	190～310	220～350	230～360	400 未満
SS	mg/L	180～300	200～330	180～330	400 未満
全窒素	mg/L	41～68	42～71	36～82	100 未満
全りん	mg/L	5.3～7.2	5.3～6.7	4.3～6.7	10 未満

4-4 上今井浄化管理センター 流入水の想定水質

水質項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	想定流入水質
pH		7.1～8.0	7.1～8.0	6.8～8.0	6.5～8.5
BOD	mg/L	170～560	170～560	73～430	600 未満
SS	mg/L	130～500	130～500	98～370	600 未満
全窒素	mg/L	28～61	28～61	14～66	80 未満
全りん	mg/L	3.4～7.2	3.4～7.2	0.5～7.2	10 未満

4-5 中野浄化管理センター 流入水の想定水量及び脱水汚泥、し渣の想定発生量

項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	R7 (想定値)	R8 (想定値)	→	R12 (想定値)
処理能力 (計画日平均)	m <sup>3</sup> /日	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	→	14,800
日平均汚水量	m <sup>3</sup> /日	7,470	7,656	7,924	8,500	8,500	→	9,000
日最大汚水量	m <sup>3</sup> /日	8,428	9,431	10,041	9,300	—	→	—
脱水汚泥	t/年	2,258	2,383	2,438	2,400	2,600	→	2,600
し渣	kg/年	1,457	1,591	1,869	1,600	1,600	→	1,600

※令和6年度の汚水量は、放流渠工事により放流流量計不稼働のため前年度汚水量を割増した推定値

4-6 長嶺浄化管理センター 流入水の想定水量及び脱水汚泥、し渣の想定発生量

項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	R7 (想定値)	R8 (想定値)	→	R10 (想定値)	R11
処理能力 (計画日平均)	m <sup>3</sup> /日	620	620	620	620	620	→	620	公共中野処理区に統合
日平均汚水量	m <sup>3</sup> /日	163	161	161	160	160	→	160	
日最大汚水量	m <sup>3</sup> /日	213	205	214	210	—	→	—	
脱水汚泥	t/年	—	—	—	—	—	→	—	
し渣	kg/年	691	673	791	720	720	→	720	

※令和10年度末に公共下水道中野処理区への統合を予定しており、以後の維持管理業務については令和10年度中に別途協議予定

4-7 高丘浄化管理センター 流入水の想定水量及び脱水汚泥、し渣の想定発生量

項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	R7 (想定値)	R8 (想定値)	→	R12 (想定値)
処理能力 (計画日平均)	m <sup>3</sup> /日	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	→	1,200
日平均汚水量	m <sup>3</sup> /日	942	927	902	920	920	→	1,000
日最大汚水量	m <sup>3</sup> /日	1,213	1,507	1,596	1,500	—	→	—
脱水汚泥	t/年	254	251	240	250	240	→	240
し渣	kg/年	600	628	553	600	600	→	600

4-8 上今井浄化管理センター 流入水の想定水量及び脱水汚泥、し渣の想定発生量

項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	R7 (想定値)	R8 (想定値)	→	R12 (想定値)
処理能力 (計画日平均)	m <sup>3</sup> /日	800	800	800	800	800	→	800
日平均汚水量	m <sup>3</sup> /日	217	214	205	210	210	→	210
日最大汚水量	m <sup>3</sup> /日	339	332	293	320	—	→	—
脱水汚泥	t /年	55	49	55	60	60	→	60
し渣	kg/年	239	258	269	260	260	→	260

4-9 し尿等投入施設 し尿等の想定投入量及びし渣の想定発生量

項目	単位	R4 (実績値)	R5 (実績値)	R6 (実績値)	R7 (想定値)	R8 (想定値)	→	R12 (想定値)
し尿等投入量	m <sup>3</sup> /日	16	15	14	15	20	→	15
希釈水量	m <sup>3</sup> /日	234	230	187	220	300	→	220
合計	m <sup>3</sup> /日	250	245	201	235	320	→	235
し渣	kg/年	1,020	1,270	805	1,000	1,300	→	1,000

※し尿等投入量とは、し尿及び浄化槽汚泥の投入量の合計

※し尿等投入施設は、令和2年1月から供用開始

※令和8年4月から9月まで飯綱町のし尿等を受入予定

別表第5 目標とする管理基準（仕様書第21条関係）

5-1 処理水の水質に関する目標

処理場名	項目	計量証明値
中野浄化管理センター 長嶺浄化管理センター 高丘浄化管理センター 上今井浄化管理センター	BOD	12mg/L 以下
	SS（懸濁物質）	24mg/L 以下
	透視度	60cm 以上
	大腸菌数	240CFU/mL 以下
	窒素	20mg/L 以下

※水質試験は、「JIS K 0102」によるものとする。

5-2 汚泥の性状に関する目標

処理場名	項目	測定値
中野浄化管理センター	脱水汚泥含水率	75.0% 以下
長嶺浄化管理センター	濃縮汚泥含水率	98.0% 以下
高丘浄化管理センター	脱水汚泥含水率	82.0% 以下
上今井浄化管理センター	脱水汚泥含水率	82.0% 以下

※試験は下水道試験法とする。

※目標とする測定値は、月間平均値とする。

5-3 脱臭装置排出ガスに関する目標

【中野浄化管理センター】

臭気指数において、敷地境界線上で30以下。

アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、スチレンの項目においては、基準値以下。

【全処理場共通項目】

脱臭装置の入口及び出口において硫化水素濃度を検知管により測定し、出口における濃度は0.2mg/L以下とし、併せて鼻覚による臭気異常の有無も確認する。

別表第6 緊急事態及び非常事態 (仕様書第22条関係)

事 項	緊急事態	非常事態(非常事態宣言)
大雨	大雨洪水警報が発せられたとき	水防警報が発せられた場合
		千曲川の水位が3.5mを超えた場合
		中野浄化管理センターの処理水放流先の篠井川水位が3.0mを超えたとき
地震	震度5弱以上の地震が発生したとき	地震により施設に障害が出た場合
火災	火災が発生したとき	火災が発生した場合
流入水質異常	毒物の流入に対する情報が寄せられたとき	活性汚泥が死滅し水処理不能に至った場合
	感染症に関する情報が寄せられたとき	感染症が集団発生した場合
	反応タンク送風量の異常増加、減少のとき	活性汚泥が死滅し水処理不能に至った場合
	多量の油類が流入したとき	活性汚泥が死滅し水処理不能に至った場合
放流水質異常	放流水の透視度悪化のとき (30 cm以下)	排出基準を超えるおそれがある場合
	放流水に油膜が発生したとき	排出基準を超えるおそれがある場合
臭気	異臭が発生したとき 脱臭装置が停止したとき	建物外部に臭気が漏洩した場合
停電	停電が発生したとき	非常用エンジンポンプが起動しなかった場合
機器類異常・故障 (処理場及び中継ポンプ場)	設置されている機器類が1台以上で1台停止(故障)したとき	設置されている機器類が1台か1台以上で全て停止(故障)した場合
新型インフルエンザ等	国内及び県内で新型インフルエンザ等が発生したとき	市内及び受注者の従業員等の中から新型インフルエンザ等感染者が発生した場合

別表第 7 廃棄物の処理 (仕様書第 24 条関係)

種 類	内 容	履行区分	
		発注者	受注者
脱水汚泥	専門業者と契約	○	
	専門業者の手配	○	○
	引渡しまでの保管		○
	専門業者への引渡し作業		○
	数量確認立会い		○
	マニフェストの作成		○
	マニフェストの保管	○	
し 渣	収集、運搬、処分		○
	処分先手続き等	○	
沈 砂	数量確認		○
	収集・運搬		○
廃油・ウエス	発注者に係るもの	○	
	受注者に係るもの		○
事業系廃棄物等	発注者に係るもの	○	
	受注者に係るもの		○



別表第8 責任分担 (仕様書第26条関係)

種 類	内 容	責任分担		備 考
		発注者	受注者	
法令等	本委託に直接関係する法令等	○	○	
市民等への対応	市民、他市町村又は報道機関等からの照会、意見、要望、依頼等の対応	○		
第三者賠償	業務履行に伴い生じた第三者に及ぼした損害		○	
事故・災害	業務履行に伴う事故・災害		○	
	天災等の不可抗力による事故・災害	○		
ユニック クレーン車	マンホールポンプの引上げ作業等		○	市及び自社の車両にて対応
	マンホールポンプ非常・緊急時の引上げ作業等	○	○	詳細は下水道施設維持管理緊急業務委託による(別途契約)
フォークリフト	保険料(強制、任意保険料)	○		
	法定検査、整備費	○		
	検査日程調整		○	
仕様等の変更	委託業務の内容変更に関するもの	○		
水処理等	目標とする管理基準		○	
想定流入水	想定流入水質の範囲内におけるもの		○	
	想定流入水質の範囲外におけるもの	○		
放流量	放流流量計の保守管理		○	
	放流量の確定	○		
脱水汚泥量	作業日毎の引抜き、脱水汚泥量の確認		○	
	搬出汚泥量の確定	○		
施設の機能	施設機能の保持・補修及び簡易な修繕		○	
	上記以外の修繕及び改築	○		
施設管理	警備委託、建物清掃及び施錠		○	旧堆肥化施設を除く
	敷地内の除雪	○	○	
	業務履行に伴う燃料・消耗機材の保管・使用		○	

別表第9 費用分担 (仕様書第27条関係)

種 類	内 容	費用分担		備 考
		発注者	受注者	
法令等	法令改正等による業務量の増減	○		
第三者賠償	業務履行に伴い生じた第三者に及ぼした損害		○	
事故・災害	業務履行に伴う事故・災害		○	
	天災等の不可抗力等による事故・災害	○		
ユニック クレーン車	マンホールポンプの引上げ作業等		○	市及び自社の 車両にて対応
	マンホールポンプ非常・緊急時の引上げ作業等	○		詳細は下水道施設維持管理緊急業務委託による (別途契約)
フォークリフト	保険料(強制、任意保険料)	○		
	法定検査、整備費	○		
	検査日程調整		○	
施設の機能	施設機能の保持・補修及び簡易な修繕		○	
	上記以外のもの	○		
緊急事態	緊急時・災害時等による受注者対応に係るもの	○		
非常事態	発注者の指示による対応に係るもの	○		
仕様変更	委託内容の変更に関するもの	○		
想定流入水	想定流入水質の範囲内におけるもの		○	
	想定流入水質の範囲外におけるもの	○		
直接経費	業務に伴う経費	○	○	別表第19
消耗品等	受注者が負担する消耗品		○	別表第17
施設の改善	施設設備の改善に伴う経費	○	○	

別表第 10 業務履行計画書及び業務履行体制（仕様書第 30 条関係）

項 目	細 目	記載内容
1. 業務履行計画書及び履行体制		
(1) 運転操作計画及び体制	水処理、汚泥管理、環境保全、マンホールポンプ場に関すること	各施設の運転、管理、操作方法、注意点等について記載
(2) 保守点検計画及び体制	各種機器点検、修繕及び部品交換、清掃等作業に関すること	内容、時期、箇所、注意点等について記載
(3) 業務履行体制		
・水質等検査体制	日常、定期、汚泥試験に関すること	検査方法、時期、注意点等について記載
・火災予防管理体制	施設管理における火災予防に関すること	火災予防計画の作成、火元責任者及び自主点検検査員、内容、時期、箇所、注意点等について記載
・再委託業務履行体制	再委託業務に関すること	再委託業者名、連絡先、担当者名等を記載
・業務履行検査体制	検査の立会い等に関すること	現地、書類検査時の立会い者等について記載
・管理業務体制	施設の管理全般に関すること	巡視箇所、清掃箇所及び時期、注意点等について記載
(4) 緊急時等対応計画及び体制	緊急時及び災害時等の対応に関すること	対応者の氏名、連絡先、連絡体制について記載
・新型インフルエンザ等対策事業継続計画（BCP）	感染予防及び感染時対策に関すること	感染予防対策及び感染拡大時における最低限必要な業務の精査、薬品類の備蓄計画、従業員不足時の対応方法、従業員感染時の連絡方法等について記載
(5) 安全衛生管理計画及び安全管理体制	作業時の安全対策等に関すること	ガス中毒、酸欠、転落防止、感電等の事故防止方法、内容、注意点等について記載
(6) 責任分担事項	社内における指揮命令系統に関すること	社内指揮命令系統について記載
(7) その他必要な事項及び体制		
2. 技術管理者選任届	技術管理者及び副技術管理者に関すること	経歴等について記載資格証明書の写しを添付
3. 従業員名簿	施設管理に携わる従業員に関すること	氏名、担当業務等について記載

項 目	細 目	記載内容
4. マンホールポンプ場非常通報装置連絡先一覧表	各ポンプ場の連絡先に関する事	氏名、連絡先等必要事項について記載
5. 有資格者選任報告書	施設等管理に必要な資格所有者に関する事	経歴等について記載資格証明書の写しを添付
6. 各種保険加入届	従業員の保険加入に関する事	加入先、保険の種類等について記載
7. し渣、沈砂収集運搬車申請書	作業内容、時期、運搬経路等に関する事	車種、ナンバー、積載量等について記載
8. その他発注者が指定する書類		

別表第 11 業務書類（仕様書第 31 条関係）

11－1 その他提出書類

	提出書類	提出時期	備 考
1	機械・機器設備等故障（事故）報告書	口頭報告後速やかに	指定書式
2	緊急業務状況報告書	速やかに	別途契約の指定書式による
3	管理技術者代行者選任届	一時不在になる事前	資格証明書・経歴書添付
4	業務再委託事業者等届出書	業者決定後速やかに	
5	貸与品及び支給品等受領書	受領時	
6	諸官庁等届出申請書	届出前	
7	設備精密点検等結果報告書	速やかに	
8	その他発注者が指定する書類		

11－2 受注者が整理保存しておく書類

	書 類	整理保存方法	備 考
1	業務、運転日誌	処理場内保管	
2	貸与物品等台帳	常備、随時更新	
3	支給品等受払簿	常備、随時更新	
4	運転記録(記録紙)	処理場内保管	
5	提出済書類	常時整理保管	
6	水質試験等結果表	常時整理保管	
7	設備台帳	常備、随時更新	
8	業務引継書	常時整理(検討、改善、更新)	

別表第 12 業務完了報告書（仕様書第 32 条関係）

12-1 月毎提出書類

	提出書類	提出期限	備 考
1	月間業務履行計画書	各前月 3 日前	業務履行計画書及び業務履行体制に基づく当月実施計画
2	月別業務完了報告書	完了月の翌月 5 日以内	市の指定する書式
3	その他発注者の指示する書類		

※月別業務完了報告書（指定書式）

- ・維持管理状況概要報告書      ・管理基準報告書      ・精密試験成績表
- ・水質月報      ・運転管理月間報告書      ・運転管理月報      ・警報履歴
- ・機器類保守点検報告書      ・計量証明書(水質及び脱水汚泥（試験月のみ）)
- ・マンホールポンプ場点検月報（点検月のみ）
- ・その他必要な書類

12-2 年度毎提出書類

	提出書類	提出期限	備 考
1	年間業務履行計画書	各業務開始日	業務計画書に基づく当該年度実施計画
2	年度業務完了報告書	各年度末日	市の指定する書式
3	その他発注者が指定する書類		

※年度業務完了報告書（指定書式）

- ・維持管理状況報告書      ・管理基準報告書
- ・業務履行実績報告書（機器稼働時間）（絶縁抵抗）      ・ポンプ場業務履行実績報告書
- ・維持管理年報      ・保守点検報告書（機器類オイル交換及びグリス補充）
- ・水質試験結果年報（1）、（2）      ・汚泥試験結果報告書（1）、（2）
- ・機器故障・修繕記録      ・緊急対応業務履行実績報告書
- ・その他必要な書類

別表第 13 有資格者の選任 （仕様書第 33 条関係）

有資格者一覧表

	資 格 名	関 係 法 令
1	下水道維持管理技術者	下水道法施行令第 15 条の 3 に規定する 下水道技術者
2	危険物取扱者乙種第 4 類 （危険物保安監督者）	消防法
3	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 （第 2 種酸素欠乏危険作業主任者）	労働安全衛生法
4	特定化学物質等作業主任者	
5	玉掛技能者	
6	ホイス式クレーン特別教育修了者	
7	小型移動式クレーン運転技能講習終了者	
8	小型車両系建設機械運転特別教育修了者	
9	フォークリフト技能講習修了者	
10	第 1 種電気工事士	電気工事士法
11	一般毒物劇物取扱者	毒物及び劇物取締法
12	甲種防火管理講習修了者	消防法
13	普通自動車運転免許 （免許交付日により中型自動車運転免許）	道路交通法

別表第 14 施設等の使用許可（仕様書第 34 条関係）

14－1 使用許可施設等

	中野浄化管理センター内対象施設等		規模	用途
1	管理棟	理化学試験室、中央監視室、便所、仮眠室、宿直室、湯沸室		運転管理
2	機械棟	作業員控室、便所、更衣室、浴室、洗濯室、洗面所、湯沸室		
3	駐車場	管理棟東側駐車場		
4	し尿等投入施設	し尿等投入室、破砕ポンプ室		
5	車両等	クレーン付ダンプトラック (長野 800 さ 2430)	2 t	マンホールポンプ場等作業 場内作業
		ホイールローダー(中野市 5823)		場内作業
		フォークリフト		

14－2 使用許可条件

- ・ 常に善良な管理者の注意を持って使用し、維持保存に要する費用は使用者の負担とする。
- ・ 第三者に使用させてはならない。
- ・ 使用目的以外に使用してはならない。
- ・ 使用物件について、形質の変改をしてはならない。ただし、あらかじめ書面による承認を受けたときは、この限りではない。
- ・ 使用者がその責に帰する事由により使用物件の全部又は一部をき損滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。
- ・ 発注者が公用又は公共用に供する必要が生じたとき、又は使用許可条件に違反する行為を認めたとは、使用許可を取消することができる。
- ・ 使用期間満了又は、使用期間の取消によって使用を終了したときは、速やかに原状に復帰させ返還すること。ただし、発注者が特に認めた場合は原状に復さず返還することができる。
- ・ 使用物件は、発注者が随時検査を実施し資料の提出又は報告を求め、その維持又は使用に関し指示したときは、その指示に従わなければならない。



別表第 15 水質及び汚泥試験（仕様書第 36 条関係）

15-1 水質試験項目及び頻度（日常試験）

【中野浄化管理センター 日常試験】

標準活性汚泥法					備考
流入水	最初沈殿池 流出水	反応槽	最終沈殿池	放流水	
水温 pH 透視度	水温 pH	水温 pH DO MLSS SV SVI	水温 pH 透視度	残留塩素 水温 pH 透視度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日のみ 1 回測定</li> <li>・ DO はモニター又はポータブル確認</li> <li>・ 残留塩素は週 1 回測定</li> </ul>

【長嶺浄化管理センター 日常試験】

回分式活性汚泥法			備考
流入水	反応槽	放流水	
水温 pH 透視度	水温 pH SV MLSS	残留塩素 水温 pH 透視度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巡回日に測定</li> <li>・ 残留塩素は週 1 回測定</li> </ul>

【高丘・上今井浄化管理センター 日常試験】

オキシデーションディッチ法				備考
流入水	反応槽	最終沈殿池	放流水	
水温 pH 透視度	水温 pH DO MLSS SV SVI	水温 pH 透視度	残留塩素 水温 pH 透視度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巡回日に測定</li> <li>・ DO はモニター又はポータブル確認</li> <li>・ 残留塩素は週 1 回測定</li> </ul>

15-2 水質試験項目及び頻度 (定期試験)

【中野浄化管理センター 定期試験】

標準活性汚泥法					備考
流入水	最初沈殿池 流出水	反応槽	最終沈殿池	放流水	
水温 pH 透視度 BOD SS	水温 pH 透視度 BOD SS	水温 pH MLSS MLVSS SV SVI	水温 pH 透視度 BOD SS	水温 pH 透視度 BOD SS	・月4回測定 ・放流水については、月2回測定
全窒素 アンモニア 亜硝酸 硝酸	全窒素 アンモニア 亜硝酸 硝酸	活性汚泥試験	全窒素 アンモニア 亜硝酸 硝酸 大腸菌数	全窒素 アンモニア 亜硝酸 硝酸 大腸菌数	・月2回測定
全りん 大腸菌数	全りん		全りん	全りん	・月1回測定

※放流水の測定結果については、計量証明書を提出すること。

【長嶺浄化管理センター 日常試験】

回分式活性汚泥法			備考
流入水	反応槽	放流水	
水温 pH 透視度 BOD SS 全窒素 アンモニア 亜硝酸 硝酸	水温 pH MLSS MLVSS SV 活性汚泥試験	水温 pH 透視度 BOD SS 全窒素 アンモニア 亜硝酸 硝酸 大腸菌数	・月2回測定
全りん		全りん	・月1回測定

※放流水の測定結果については、計量証明書を提出すること。

【高丘・上今井浄化管理センター 日常試験】

オキシデーションディッチ法			備 考
流入水	反応槽	放流水	
水温 pH 透視度 BOD SS 全窒素 アンモニア 亜硝酸 硝酸	水温 pH MLSS MLVSS SV SVI 活性汚泥試験	水温 pH 透視度 BOD SS 全窒素 アンモニア 亜硝酸 硝酸 大腸菌数	・月 2 回測定
全りん		全りん	・月 1 回測定

※放流水の測定結果については、計量証明書を提出すること。

15-3 水質試験項目及び頻度 (法定試験)

【各浄化管理センター共通 法定試験】

流 入 水	放 流 水	備 考
n-ヘキサン フェノール 溶解性マンガ	n-ヘキサン、ホウ素	・流入水は月 1 回測定 ・放流水は月 2 回測定
銅 亜鉛	砒素、ふっ素、銅、亜鉛、溶解性鉄	・月 1 回測定
溶解性鉄 クロム フッ素 カドミウム シアン 鉛 砒素 水銀	カドミウム、シアン、有機燐、鉛、六価クロム、 水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、 1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、 1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、1,4-ジオキサン、 フェノール、溶解性マンガ、クロム	・年 2 回測定 (9 月、2 月)

※放流水の測定結果については、計量証明書を提出すること。

15-4 放流水の水質検査計画（計量証明書）

【各浄化管理センター共通 計量証明書提出分】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カドミウム及びその化合物						1					1		2
シアン化合物						1					1		2
有機燐化合物						1					1		2
鉛及びその化合物						1					1		2
六価クロム化合物						1					1		2
砒素及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物						1					1		2
アルキル水銀化合物						1					1		2
ポリ塩化ビフェニル						1					1		2
トリクロロエチレン						1					1		2
テトラクロロエチレン						1					1		2
ジクロロメタン						1					1		2
四塩化炭素						1					1		2
1,2-ジクロロエタン						1					1		2
1,1-ジクロロエチレン						1					1		2
シス-1,2-ジクロロエチレン						1					1		2
1,1,1-トリクロロエタン						1					1		2
1,1,2-トリクロロエタン						1					1		2
1,3-ジクロロプロペン						1					1		2
チウラム						1					1		2
シマジン						1					1		2
チオベンカルブ						1					1		2
ベンゼン						1					1		2
セレン及びその化合物						1					1		2
ほう素及びその化合物	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
ふっ素及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
1,4-ジオキサン						1					1		2
フェノール類						1					1		2
銅及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
亜鉛及びその化合物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
鉄及びその化合物（溶解性）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マンガン及びその化合物（溶解性）						1					1		2
クロム及びその化合物						1					1		2
アンモニア、アンモニウム化合物	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
亜硝酸化合物	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
硝酸化合物	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
水素イオン濃度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
生物化学的酸素要求量	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
浮遊物質	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
大腸菌数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
窒素含有量	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
燐含有量	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

#### 15-5 汚泥試験（日常試験）

##### 【各浄化管理センター共通 日常試験】

汚泥の性状	余剰汚泥	濃縮汚泥	脱水汚泥	備考
中野浄化管理センター		○	○	
長嶺浄化管理センター		○	—	
高丘浄化管理センター		○	○	
上今井浄化管理センター	○	—	○	
測定項目	泥温 pH 濃度 外観 臭気 MLVSS RSSS	泥温 pH 濃度 外観 臭気 MLVSS RSSS	含水率 外観	・月2回測定

※試験方法は下水道試験法による。

15-6 脱水汚泥の溶出・成分試験及び河川底質試験（計量証明書）

【中野・高丘・上今井浄化管理センター 計量証明書】

試験の種類	項目
溶出試験 25 項目	アルキル水銀化合物、水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛及びその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、シアン化合物、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、1,4-ジオキサン
成分試験 18 項目	砒素、カドミウム、水銀、クロム、鉛、銅、亜鉛、含水率、有機物、苦土、ニッケル、窒素、りん酸、加里、石灰、炭素窒素比、アルカリ分、pH
成分試験 8 項目	砒素、カドミウム、水銀、クロム、鉛、銅、亜鉛、ニッケル
河川底質試験 11 項目	砒素、カドミウム、水銀、クロム、鉛、銅、亜鉛、鉄、マンガン、含水率、有機物

※試験結果については、計量証明書を提出すること。

15-7 脱水汚泥の放射性物質測定

【中野・高丘・上今井浄化管理センター 測定報告書】

測定内容	核種
放射性物質	放射性ヨウ素 I-131
	放射性セシウム Cs-134
	放射性セシウム Cs-136
	放射性セシウム Cs-137

※放射性物質濃度の測定方法は、ゲルマニウム（Ge）半導体検出器を用いたγ線スペクトロメトリーとし、定量下限値を核種ごとに10Bq/kgとする。

※測定結果については、測定報告書を提出すること。

15-7 汚泥分析及び河川底質試験等実施計画

月	溶出試験 25 項目	成分試験 18 項目	成分試験 8 項目	河川底質試験 11 項目	放射性 物質測定
4			中野		
5					
6	中野、高丘、 上今井	中野、高丘、 上今井			中野、高丘、 上今井
7					
8			中野		
9					
10			中野	中野(3 地点)	
11					
12			中野		
1					
2			中野		
3					

別表第 16 支給する部品材料等 (仕様書第 37 条関係)

施設場所	機器名	部品・材料	仕様等
施設全般	ポンプ類	小型ポンプ	
	空調換気ファン	エアフィルター	
		換気扇	
	工業計器部品	各種センサー	
		電極・フロート類	
		指示計	
	機械部品材料	計器類	
		配管類	
		バルブ類	
		配管スイッチ類	
	電気部品材料	各種継電器・接触器類	
		蓄電池及びその補給水	
		電線類・電線管類	
		スイッチ類	

別表第 17 受注者が負担する消耗品等（仕様書第 38 条関係）

	消 耗 品 類
1	各機器の潤滑油・グリス類
2	ボルト・ナット類（汎用短小小径で簡易な修繕に伴うもの）
3	パッキン類（簡易な修繕に伴う汎用なもの）
4	Vベルト類（簡易な修繕に伴う汎用なもの）
5	ヒューズ類（高圧機器類は除く。）
6	機器運転表示ランプ類、建物内蛍光灯
7	機器・施設等補修用消耗品（塗料・絶縁テープ類・ウエス等）
8	管理用消耗品（記録紙、トナー類、バッテリー溶液、バッテリー等）
9	清掃に必要な薬剤等、ブラシ、バケツ類等
10	受注者が行う水質試験等に使用する薬品・燃料・試験器具等
11	受注者従業員に係る消耗品類
12	その他業務履行に伴う作業、機器類用消耗品 （特殊な品物でも、1 個 1,000 円以下のものについては受注者負担）

※ 購入に当たっては、中野市内業者を優先すること。

別表第 18 敷地境界線臭気測定（仕様書第 39 条関係）

測定場所	測定項目	分析方法	分析回数
【中野浄化管理センター】 ① 南南西敷地境界 ② 北西敷地境界 ③ 機械棟屋上排気孔 【し尿等投入施設】 ④ 活性炭入口 ⑤ 活性炭出口  (全5か所)	臭気指数	平成7年環境庁告示第63号	年1回 (9月)
	アンモニア	昭和47年環境庁告示第9号	
	メチルメルカプタン		
	硫化水素		
	硫化メチル		
	二硫化メチル		
	トリメチルアミン		
	アセトアルデヒド		
	スチレン		

※ 臭気測定については、計量証明書を提出すること。



別表第 19 直接経費の負担区分（仕様書第 40 条関係）

区 分	項 目	内 容	負担区分	
			発注者	受注者
動力費	使用電力	電力・電灯・街路灯等	○	
薬品費	次亜塩素酸ナトリウム（中野） 固形塩素（長嶺・高丘・上今井）	放流水消毒用	○	
	高分子凝集剤	汚泥脱水用	○	
	助剤（塩化第二鉄）			
	脱水機ろ布洗浄剤			
	活性炭	機械棟脱臭用		○
		し尿等投入施設脱臭用		○
	清掃薬剤類	ワックス等		○
燃料費	A 重油	自家用発電機用（中野）	○	
	灯油	機械棟暖房用（中野）	○	
	プロパンガス	水質試験室（中野）		○
		管理棟給湯室（中野）		○
	アセチレンガス	水質試験室（中野）	○	
	混合ガソリン	場内機器類・除草用器類用		○
	ガソリン			○
	軽油	作業車両、発電機用	○	
水道料	上水道	業務用	○	
通信費	電話	業務用	○	
廃棄物処分費		汚泥、し渣、沈砂	○	
		廃油・ウエス・器具類（事業系）	○	
		廃油・ウエス・器具類 （受注者業務に係るもの）		○
修繕費	機械、機器等の修繕	工事・修繕	○	
		補修及び簡易な修繕		○
収集、運搬費		し渣、 （東山クリーンセンターへ）		○
		沈砂 （中野浄化管理センター敷地内 の沈砂仮置場まで）		○
手数料		し渣処分	○	
水質試験費	機器・器具類	仕様書で定める業務に必要な機器 設置費・器具類及び維持費		○
汚泥試験費				○

区 分	項 目	内 容	負担区分	
			発注者	受注者
環境測定費	臭気測定			○
河川底質試験費				○
放射性物質 測定費				○
オイル交換費	自家発電機用	令和 8, 10, 12 年度（2 年毎）実施		○
	マンホールポンプ用	年間 12 か所ないし 13 か所実施		○
	その他の機械類			○
施設の警備	中野浄化管理センター及びし尿等投入施設のみ			○
消防設備点検				○
地下タンク及 び地下埋設管 気密検査				○
樹木の剪定、 除草				○
車両費	ユニッククレーン車	マンホールポンプ引上げ作業等 （市及び自社車両にて対応）		○
		マンホールポンプ非常・緊急時の 引上げ作業等（詳細は下水道施設 維持管理緊急業務委託による（別 途契約））	○	
フォークリフ ト	保険料	強制、任意保険料	○	
	検査、整備費		○	
	検査日程調整			○
被服費	受注者従業員用	作業服、帽子、靴、防寒服等		○
安全保護具類	受注者従業員用	ヘルメット、安全靴、マスク、手 袋その他必要な保護具		○
用具・器具類	清掃用具類	仕様書で定める業務用具類		○
	樹木剪定・除草用具類			○
	作業・点検用具類	作業点検工具、器具類（特殊品は 除く）		○
消耗品費	事務用品・備品等の設置費及び維持費			○
	中央監視室 P C のデータロガーのカラートナー		○	
その他	別表第 3 で定める試験・測定・点検・検査等の経費			○

※ 購入及び委託にあたっては、中野市内業者を優先すること。

別表第 20 貸与品類について

- ・ 門扉の南京錠の鍵 . . . . . 1 式
- ・ 処理場入口の鍵 . . . . . 1 式
- ・ その他終末処理場等の鍵 . . . . . 1 式
- ・ 処理場管理室及び付随する備品類 . . . . . 1 式
- ・ 処理場建設時の竣工書類(取扱説明書、仕様書等) . . . . . 1 式
- ・ 処理場備付運転管理状況等書類 . . . . . 1 式
- ・ 各指定書式保存電子データ . . . . . 1 枚